

赤い天使



©KADOKAWA1961

野戦病院を舞台に、若尾演じる従軍看護婦が傷ついた兵士や軍医に深い愛を注ぐ。鋭く重みのあるリズムを基調とし、過激描写も厭わない徹底した増村の演出が、戦争の暗部を抉り出す屈指の問題作!

監督・増村保造
原作：有馬頼義 脚本：笠原良三
出演：若尾文子、芦田伸介、川津祐介
(1966年/モノクロ/95分/スコープ)

女系家族



©KADOKAWA1963

山崎豊子の同名小説を映画化。遺産相続をめぐる、三人姉妹(京、鳳、高田)と愛人(若尾)が骨肉の争いを繰り広げる。女人たちのエゴとエゴのぶつかり合いと騙し合いを、大映屈指のスタッフと豪華出演陣で描く文芸大作。

監督：三隅研次
原作：山崎豊子 脚本：依田義賢
出演：京マチ子、若尾文子、田宮二郎
(1963年/カラー/111分/スコープ)

青空娘



©KADOKAWA1957

祖母の死で継母に引き取られても、明るく強く生きていく少女の姿を、日本的な情緒を一切廃し、スピードある演出でモダンに描いた傑作青春物語。増村×若尾初タッグ、ゴールデンコンビの原点ともいべき記念的な作品。

監督：増村保造
原作：源氏鶏太 脚本：白坂依志夫
出演：若尾文子、川崎敬三、菅原謙二
(1957年/カラー/89分/スタンダード)

女は二度生まれる 4K復元版



©KADOKAWA1961

無知で無欲、唄も踊りも出来ない芸者・小えん(若尾)は明るさと色気を武器に自由奔放な生活を送っていた。そんな彼女が見つけた自分らしい生き方とは…。大映初となる名匠・川島が軽妙なタッチで描く傑作女性映画。

監督・脚本：川島雄三
原作：富田常雄 脚本：井手俊郎
出演：若尾文子、フランキー堺、藤巻潤
(1961年/カラー/99分/スコープ)

雁の寺



©KADOKAWA1962

禅寺を舞台に繰り広げられる禁断の愛欲と、それを見つめる少年の復讐を描いた衝撃の問題作。ベテラン俳優陣が脇を固め、実力派スタッフが集結した、傑作『女は二度生まれる』に続く、名匠・川島×若尾タッグ二作目。

監督・脚本：川島雄三
原作：水上勉 脚本：舟橋和郎
出演：若尾文子、三島雅夫、木村功
(1962年/パートカラー/98分/スコープ)

祇園囃子



©KADOKAWA1953

芸妓・美代春(木暮)は、ある日やって来ますばらしい姿の少女・栄子(若尾)を舞妓として育てることに…。ベテランの木暮と当時新人だった若尾が役柄とオーバーラップし、映画に見事な深みを与えた傑作人間ドラマ。

監督：溝口健二
原作：川口松太郎 脚本：依田義賢
出演：木暮実千代、若尾文子、河津清三郎
(1953年/モノクロ/85分/スタンダード)

刺青



©KADOKAWA1966

『祀』に続き谷崎文学を増村保造が映画化。質屋の娘・お艶(若尾)は手代と駆け落ちするも売り飛ばされ、悪女へと堕ちてゆく…。魔性の肌を持つ女に潜む冷たさと妖艶さを、絢爛たるエロチズムで描き上げた傑作。

監督：増村保造
原作：谷崎潤一郎 脚本：新藤兼人
出演：若尾文子、長谷川明男、山本学
(1966年/カラー/86分/スコープ)

卍



©KADOKAWA1964

人妻・園子(岸田)は、令嬢・光子(若尾)の美しきの虜になる。光子への狂わんばかりの愛に突き動かされた園子は、夫(船越)や周囲を巻き込み…。若尾の美しきヤファム・ファタルの魅力が炸裂する異色の恋愛ドラマ。

監督：増村保造
原作：谷崎潤一郎 脚本：新藤兼人
出演：若尾文子、岸田今日子、船越英二
(1964年/カラー/90分/スコープ)

しとやかな獣 4K復元版



©KADOKAWA1962

詐欺まがいの手法で荒稼ぎする団地住まいの一家の前に現れた最大の強敵! 幸枝(若尾)は男たちを騙し、次々と金を巻き上げていたが…。川島×新藤の会話劇と映像美が冴えわたる痛快ブラック・コメディ。

監督：川島雄三
原作・脚本：新藤兼人
出演：若尾文子、船越英二、浜田ゆう子
(1962年/カラー/96分/スコープ)

好色一代男



©KADOKAWA1961

江戸文学の傑作、井原西鶴の同名小説を映画化。京都の但馬屋の一人息子・世之介(雷蔵)の女遊びに怒った父は世之介を江戸に修行に出し…。雷蔵を主演に、若尾、中村、水谷が大映女優陣が華やかに脇を添えた傑作時代劇。

監督：増村保造
原作：井原西鶴 脚本：白坂依志夫
出演：市川雷蔵、若尾文子、水谷良重
(1961年/カラー/92分/スコープ)

「女の小箱」より 夫が見た



©KADOKAWA1964

金、地位、愛…欲望に身を任せる男女の愛憎を増村がスタイリッシュに描き切った傑作。愛に飢える人妻(若尾)、自己保身ばかりの夫(川崎)、野心家のクラブオーナー(田宮)、蠱惑的なマダム(岸田)と役者陣の熟演も必見。

監督：増村保造
原作：黒岩重吾 脚本：高岩肇
出演：若尾文子、田宮二郎、川崎敬三
(1964年/カラー/92分/スコープ)

越前竹人形



©KADOKAWA1961

娼妓の玉枝(若尾)は、墓参りに喜ぶ(山下)と出会う。一途に想い合う二人だったが、夫婦の交わりがない生活に不満を覚える玉枝は馴染みだった客(西村)に抱かれ、不義の子を身ごもってしまう…。若尾の代表作のひとつ。

監督：吉村公三郎
原作：水上勉 脚本：笠原良三
出演：若尾文子、山下尚一郎、中村玉緒
(1963年/モノクロ/102分/スコープ)

ぼんち



©KADOKAWA1960

山崎豊子の同名小説を巨匠・市川崑が軽妙かつ格調高く映画化。大阪を舞台に、四代続いた足袋屋の一人息子(雷蔵)の半生を、豪華女優陣競演で描いた傑作ドラマ。若尾は指輪集めが趣味のドライな性格の芸者を演じた。

監督・脚本：市川崑
原作：山崎豊子 脚本：和田夏十
出演：市川雷蔵、若尾文子、越路吹雪
(1960年/カラー/105分/スコープ)

お嬢さん



©KADOKAWA1961

三島由紀夫の同名小説を映画化。会社部長の父、良妻賢母の母、親友・チエ子(野添)を持つお嬢様のかすみ(若尾)は休日家に遊びに来た父の部下(川口)に惹かれ…。女子大生の成長する姿を描いた傑作ラブコメディ。

監督：弓削太郎
原作：三島由紀夫 脚本：長谷川公之
出演：若尾文子、川口浩、野添ひとみ
(1961年/カラー/79分/スコープ)

妻は告白する



©KADOKAWA1961

岩壁の遭難事故で、ザイルを切って夫を落下させた妻(若尾)が裁判にかけられ…。若尾がスターから演技派女優へ、少女から大人の女性へと変貌する転機となった。既存のモラルを激しく揺さぶる増村最高傑作のひとつ。

監督：増村保造
原作：円山雅也 脚本：井手雅人
出演：若尾文子、川口浩、小沢栄太郎
(1961年/モノクロ/92分/スコープ)

華岡青洲の妻



©KADOKAWA1967

有吉佐和子のベストセラー小説の映画化。世界初全身麻酔手術、その陰には嫁姑の対立と確執があった…。医師(雷蔵)に尽くし、人体実験として自らの身を呈する妻と母を若尾&高峰が鬼気迫る演技で魅せる愛憎ドラマ。

監督：増村保造
原作：有吉佐和子 脚本：新藤兼人
出演：市川雷蔵、若尾文子、高峰秀子
(1967年/モノクロ/99分/スコープ)

その夜は忘れない



©KADOKAWA1962

広島被爆から17年目の夏、ジャーナリストの加宮(田宮)が今も残る原爆被害者について取材するため広島にやって来る。そんな中、加宮はバーのマダム・秋子(若尾)と出会い、心惹かれるのだったが…。

監督：吉村公三郎
脚本：白井更生、若尾徳平
出演：若尾文子、田宮二郎、川崎敬三
(1962年/モノクロ/96分/スコープ)

浮草



©KADOKAWA1960

志摩半島の漁村を舞台に、旅回り一座の座長(中村)とその恋人(京)、劇団員(若尾)、飯屋の母子(杉村・川口)など様々な人間が織りなす心の交流と人生の真実を格調高く描いた感動作。巨匠・小津安二郎唯一の大映作品。

監督・脚本：小津安二郎
脚本：野田高梧
出演：中村扇治郎、京マチ子、若尾文子
(1959年/カラー/120分/スタンダード)

からっ風野郎



©KADOKAWA1960

出所したばかりの二代目親分(三島)が映画館で働く芳江(若尾)と出会う。互いに惹かれあい、ヤクザ稼業の空虚を知る彼だったが、殺し屋に命を狙われ…。三島初映画主演作、ハードボイルドで青春感漂う恋愛ドラマ。

監督：増村保造
脚本：菊島隆三、安藤日出男
出演：三島由紀夫、若尾文子、船越英二
(1960年/カラー/96分/スコープ)

最高殊勲夫人



©KADOKAWA1959

周囲が勝手に進める結婚話に反発する杏子(若尾)と三郎(川口)はやがて…。現代を先取りしたセンス、怒涛の機関銃トーク、若尾文子の明るくキュートな魅力が大炸裂する、モダンでスピーディーなラブコメディの傑作。

監督：増村保造
原作：源氏鶏太 脚本：白坂依志夫
出演：若尾文子、川口浩、船越英二
(1959年/カラー/96分/スコープ)

赤線地帯



©KADOKAWA1956

巨匠・溝口健二の遺作。様々な事情を抱え、公認の売春地域(赤線)に生きる女たちの生き様を、生々しくリアルに描いた悲喜劇。独特なテーマ音楽や、溝口の厳しい演技指導を受け、難役を演じきった若尾の演技にも注目。

監督：溝口健二
脚本：成澤昌茂(原中一部分、志摩半島(浮草の女)より)
出演：京マチ子、若尾文子、木暮実千代
(1956年/モノクロ/85分/スタンダード)